

発刊のことば

大手前大学 学長 鳥越 皓之

このたび、「大手前大学国際看護研究所研究集録」が発刊される運びとなりました。とてもうれしく思っております。この発刊に至るまでに、国際看護学部の先生方の努力があり、その成果のひとつとして研究集が編まれるようになったからです。

なにごともひとつの成果の表れの後ろに多くの人たちの血と汗があるものです。そもそも国際看護学部の誕生に至るまで、大手前大学の関係者が長年、熱意をもって取り組んできた事実があって、それを踏まえて、国際看護学部に優れた尊敬する研究者が結集することになりました。その人たちの願望のもとに、この研究集が生まれることになったのです。

私は看護学の分野に疎い者ですが、看護学は比較的研究の歴史が浅く、そのため逆に長所として、将来的に多様な研究の可能性を展望できる分野であると推察しています。創造性豊かな沃野をもった分野といえるでしょう。看護という現場に鋭く切り込む思想や実証性をもった貴重な研究が生まれるでしょう。また他方、本号にも掲載されていますが、読んでいておもしろく、考えるヒントになるようなもう少し気楽な論考も「報告」としてこの研究集に収録されつづけることになるでしょう。

この「研究所研究集録」が大手前大学のみならず、ひろく看護学にかかわる人たちに有益なものとして注目されることを心から期待いたしております。